

干渉SARを用いた最適な水準測量の調査

(概算要求額 5,156千円)

【背景・目的】

平成18年1月に打ち上げられた陸域観測技術衛星「だいち」により、干渉SAR技術で定期的に地盤変動等を面的に捉えることが可能となった。この干渉SAR技術を地盤沈下監視へ効果的に利用するための調査検討を行う。

【施策の概要】

地盤地下の監視を面的に行える干渉SAR技術と線的ではあるが高精度の結果が得られる精密水準測量による観測の双方の得意な部分を組み合わせることで精密水準測量の観測量を縮減する。

【効果】

干渉SAR技術の活用で、全国で行われている地盤沈下調査作業の水準測量に関わる事業量の効率化が図られる。

